

の爲昨日飛行機で香港より當地に到着した。七ヶの避難民收容所が重慶郊外に設置せられ避難民には再び獨立出来る様になる迄政府より今後三、四箇月間一人宛毎月三、四元を支給される筈である。一方防空當局は消防隊、擔架隊、埋葬班及び防空壕を増員、増設し、又郊外に臨時病院を設置し市民の避難工作を強化してゐる。

(ロ)日本機八十六機は昨日南支廣東省、中支湖北省、東支浙江省、西北支陝西省を含む支那各地に亘つて三百箇の爆弾を投下した。廣東省西部西江方面の高明は日本爆撃機二十二機の爆撃を受け百箇以上の爆弾を投下せられて甚大なる損害を蒙つた。會て廣東省東部の繁華なる開港場であつた汕頭も亦ひどく襲撃せられ連續四日間に亘る猛烈な爆撃で商業は全く停頓し、特に昨日は死傷者百四名以上に達した。甚大なる被害を受けたもう一つの都市は陝西省四川省境附近の南鄭で日本機十二機が百一箇の爆弾を投下し少くとも三十名以上を死傷せしめ百戸以上の家屋を破壊した。又日本機は南支福建省廈門附近の泉州を二回爆撃し家屋四十戸を破壊し、一方日本爆撃機五十機は廣東省の各地に大規模な爆撃を行つた。

(註) 尙右の外に

一、香港新領域の墾墾工事

一、英大使の成都訪問

一、上海の孫文大總統就任記念日

等のニュースありたり。

秘

内閣情報部五・一一 情報第八號

一、上海ロイテル特報(七日)——朝鮮總督府遞信局總取)
湖北省襄陽報(ロイテル特派員三日發)

日本軍が西方への進撃を開始した湖北省北部で二、三週間以内に激戦が起る模様である。支那側報道によれば進撃のため有力な援軍が到着したばかりであるといはれる、支那側はあらゆる軍勢をもつて日本側の企圖を阻止せんと決意してゐるもの様である。余は漢口西北方百哩隨縣(隨州府)附近の支那側前線を訪ねて襄陽へ歸還したところである、隨縣は支那側前線の北側にあり、支那側の線は隨縣より西南方へ走り漢水の數ヶ月前日本軍が占領した安陸(鐘祥)に至り、それから漢水に沿つて南下してをり、漢水の西岸は支那軍、同じく東岸は日本軍が保持してゐる。支那軍は機關銃などの小型武器については裝備優秀であるが、例の如く大砲に著るしく不足してをり、北側の支那軍は山砲以上に有効な砲を有してゐない、一方日本軍は六吋砲まであらゆる口径の砲を充分に備へてゐる。しかし隨縣方面で行動してゐる日本軍の背後には三千の遊撃隊がをり、之等は日本側の警備手薄な地區を行つたり戻つたりしてゐる、正規兵、不正規兵、武装農民よりなるこの軍勢の攻撃價値は大したことはあるまいが、この効果は決して無視し得ないものである。五月一日余が前線に到着した時、日

本軍は隨縣を挾撃せんとして、其の西北及び西南の地點に對する攻撃を開始した、二時間に亘る砲火の集中後北方に對する歩兵の攻撃があつた、支那軍は頑強に、其の陣地を固守して夕方迄に僅か四分の一哩足らずを失つただけだつた。支那軍司令部は余に對し六百の死者を出したが、敵も少くともそれ位の犠牲を出したであらうと洩した。襄陽への歸途余は援軍と出遇つた、前線へ急送されてゐる新しい軍需品や彈藥によつて余は支那側がこの方面の戦線で決戦せんと決心してゐることを察した。

一、重慶報 支那政府は重慶の避難民救済の爲に百萬元を計上した外に同市内の防空道路構築の爲に更に百萬元を充てた。官憲、黨部の職員達は全部少くとも一箇月分の給料を難民救済に寄附する筈である。支那政府は又重慶の市政府を直接行政院の管轄下に置く旨の布告をした以前駐日支那大使であつた救済委員會議長許世英は救済工作支援の爲昨日午後飛行機で香港より當地に到着した。尙中國共產黨機關紙「新華日報」は昨日迄獨立して發行してゐたが、本日發行を停止し、現在十種の新聞が聯合發行してゐる「重慶合同日報」に加入したことは注目すべきである。

(註) 尙右の外に

一、重慶總領事館の被害状況

一、米人義勇飛行士の墜死

等のニュースありたり。

内閣情報部五・一一

情報第九號

一、對日和平斡旋を英議員提案

同盟電報一不發表

ロンドン十日發

十日午後の英國下院質問時間に於て防共協定強化問題及び日支間和平斡旋問題につき反對黨議員トラー(事務次官)の間に左の如き質疑應答が行はれた。

最近日本政府は防共協定を強化して獨伊兩國と軍事的其他の目的を有する同盟關係に入ることを拒絶するに決したといはれるが、政府はこれに鑑み日本政府に對し支那に於ける侵略的行爲を中止して支那から日本軍の撤兵を行ひ、且つそれと同時に不侵略及び公平な經濟的協力のための協定締結を目的として關係國間の極東會議を直ちに開催するやう提議する意向はないか

トラー次官

政府は日本政府が御質問の趣旨のやうな決定をなしたといふことは單に新聞報により承知してゐるに過ぎない、御提示の問題についての政府の見解は一月十四日の對日通牒に述べた所て盡きてゐる。